

検査
点検
研究
井研
水メ
集力

現場見学・講習会初開催

点検手法への理解深める

集水井点検カメラ研究会
(会長・齋藤浩之興和常務取締役技術本部長)は25、26の両日、新潟県内で現場見学会と講習会を開いた。会員企業3社から17人が参加。技術力の向上に向けて、点検手法への理解を深めた。

現場見学会、講習会は今回

が初めて。初日は長岡市の入塩川地すべり7号集水井で見学会を開いた。専用の点検カメラで使う架台の組み立て方を始め、点検手法を解説しながら集水井内を撮影した。

最終日は新潟市の興和ビルで講習会を開催。齋藤会長は冒頭、「研修を通じて会員

と情報交換しながら工法を進化させていきたい」とあいさつした。講義では見学会で撮影した撮影データを使いながら、編集やパノラマ写真の作成など資料整理の方法を説明した。

研究会は新潟県内外の4社で6月に発足した。集水井の適切な維持管理に向けて、専用力カメラを使った点検の調査研究を進め、その普及に努める。会員企業の技術力向上や新技術開発にも取り組む。



現場見学会の様子



講習会では資料整理の方法を解説した

